

令和6年度 第1回 上牧町総合教育会議 議 事 録

- 日 時 令和6年4月26日（金）13時30分から15時30分まで
- 場 所 上牧町役場 2階 第2会議室
- 出席者 今中町長、松浦教育長、渡邊委員、東谷委員、暁委員、土井委員
- 事務局 松井部長、辻村課長、吉川課長、野崎課長、日高課長補佐、千葉指導主事、
苧木指導主事、岡田指導主事、中本課長、土井課長補佐、高野係長、中村主事
- 次 第 開会
案件
Ⅰ 上牧中学校舎新築事業等について
閉会

●議事概要

町長挨拶

- ・考え方や予算も概ね固まってきた新しい統合中学校について、担当課から資料に基づいた説明をお願いする。

案件Ⅰ 上牧中学校舎新築事業等について

教育総務課から、上牧中学校舎新築事業等について説明

渡邊委員 当初、令和6年4月から9月頃に保護者説明会を実施予定であると示されていたが、既に保護者等にお知らせはしているか。

担当課 現時点ではしていない。

渡邊委員 進捗状況がわからないという声がある。施工業者が決まってから開催するのであれば、そのことについて適切にお知らせをしないといけない。

担当課 スケジュール等を示している学校適正化だよりを不定期で発行しており、広報に挟み込み全戸配布をしている。予定が変更されている部分もあるので今後示していく。

東谷委員 プールについては相当程度痛んでいるので、事業費が1億円増額するとはいえ改修ではなく改築されるのは良い判断であると考えます。しかし、補助金交付要件に適合しなかった等の理由で事業費が6億5,000万円程増額している。今後このような理由による事業費の変動はないと考えて差し支えないか。

- 担当課 今後業者選定を行った後の契約金額は減額となる見込みである。もちろん工事を進めていくなかで追加の安全対策が必要になる等の理由で変動は見込まれるが、今回示している金額を大幅に上回ることや下回ることはないと考えている。また、国費についても資料に示しているもの以外の見込みはないので大きな変動はないと考えている。
- 東谷委員 交付要件に適合しなかった要因はなにか。
- 担当課 当初は新校舎棟を今の上牧中学校グラウンドに建設するため、建設中から解体工事中において、新校舎棟からの避難経路としてグラウンドが使えなくなることから旧校舎棟の面積すべてを「配置計画し取り壊しが必要と認められるもの」として保有面積から控除される（保有控除）と考えていた。しかし、文部科学省と協議を進めていくなかで、「配置計画し取り壊しが必要と認められるもの」を理由とする保有控除要件については、各種法律・規則に抵触する場合に限られることが判明し、本件についてはその対象外であると判断されたためである。
- 東谷委員 6億5,000万円実質負担が増えるということであるが、仮にローン金利3%で考えると上牧町の実質負担が10億円を超えてくるだろう。可能な限りこれ以上の事業費の増額がないようにしていただきたい。総事業費が46億6,500万円であり、工事費が28億7,700万円ということであるが、工事費以外で事業費規模の大きいものはなにか。
- 担当課 解体工事、解体工事後のグラウンド整備、外構工事である。また、プール及びプール付属棟の整備費が今後必要になる。
- 東谷委員 解体工事費用はどのくらいするのか。
- 担当課 上牧第二中学校舎の一部の解体費用を含め約5億2,000万円である。
- 東谷委員 新校舎棟建設中の図をみると、有事の際に避難する経路が四方塞がっているようにみえるが、約400人を安全に避難させるための経路の確保等は確実に行ってほしい。
- 担当課 現状ルートがないわけではないが、より安全に確実に避難できるように今後調整をしていく。
- 暁委員 北東に体育倉庫を建設する理由はなにか。

- 担当課 本体育倉庫は限られたスペースを有効活用するために体育倉庫とごみ置き場の複合機能施設となるが、給食室の近くにごみ置き場を配置した結果である。
- 東谷委員 プールの位置はまだ未定であるか。
- 担当課 プールの位置に大きな変更はない予定であるが、プール付属棟の規模によっては現在のテニスコートを一部取り込む対応が必要になる可能性がある。
- 東谷委員 プールのような構造物が土地の真ん中にあると、土地の効率的な使用の観点からは望ましいとは言い難い。土地の端（角）に移設することは可能か。
- 担当課 プールの基礎については現存のものを使用する可能性があるのですが、その場合は難しい。また、基礎を含めての移設となると事業費の増額につながってしまうことに加え、現在の予定であっても令和7年度の授業については使用に制限がかかることに懸念があるなかで、例えば、既存校舎の跡地にプールを整備する場合、解体後の整備となり、現在のプールの劣化状況を踏まえると、更新の遅れは最小限にとどめておきたいので、整備の位置については大きく変更せずに進めていきたいと考えている。
- 暁委員 教室の周りすべてがバルコニーである理由はなにか。避難経路等になるのか。
- 担当課 ご認識のとおりである。
- 暁委員 避難経路になる利点はあるのだろうが、バルコニーが死角となり各種問題の要因となりかねないのではないかと。また、お手洗いの周辺を人が歩くということにも違和感を覚える。
- 担当課 普段は施錠し、生徒、教職員ともに出入りは禁止とする予定である。有事の際、業者による掃除の際等において開錠するという運用を予定している。
- 暁委員 コストの削減の観点からであるが、業者に掃除等の維持管理を委託しなければならないバルコニーは不要ではないか。また、普段は施錠をするということであるが、有事の際に教職員が鍵を取りに行き開錠しないと避難できないというのは欠陥ではないか。
- 担当課 新校舎棟の設計にあたり消防とも協議をしているが、火災が発生した際のリスク低減としてバルコニーを整備することが望ましいということである。ま

た、鍵の運用については、いじめや自殺のリスク低減の観点から普段は施錠をすることでバルコニーに出られないようにし、有事の際には開錠することで避難経路として使用できるような運用を予定している。しかし、有事の際における体制の脆弱性は感じるので、今後の課題としたい。

暁委員 図書室の大きさ等は決定済みであるか。くつろぎながら本を読めるスペースであったり、学習がきちんとできるスペースの確保であったり、蔵書のことを考えると不十分であると考えている。

松浦教育長 図書室の大きさについては自慢できるものではないと認識している。しかし、新校舎棟においては各階にゆとりスペースを設けており、図書室の蔵書とは別に各階に本を置くことや、学級のなかにも本を置くというような取組を実施することで学校全体としての蔵書数を必要十分確保し、生徒の意欲を高めることは可能だと考えている。

暁委員 上牧町も例外ではない少子高齢化社会において、建設に要する財源については将来世代の負担となる。もちろん新校舎棟となるので立派なものを建てたいということは理解するが、過剰な設備投資等、不要なコストはカットしていくということは念頭に置いて事業を進めていただきたい。

担当課 事業費についてはこの規模の新校舎棟としては妥当であると考えている。他の自治体と比較しても高いということはない。

東谷委員 新校舎棟壁面のタイルやバルコニーをなくすという対応で何千万円と事業費が変わってくるのではないか。

担当課 新校舎棟における壁面については、タイルに模したものをあしらっているので事業費への大きな影響はないと認識している。バルコニーの必要性については前述のとおりである。

渡邊委員 バルコニーについては必ずしも不要というものではなく、防災面はもちろんであるが、精神面においても安心感がうまれると考える。

東谷委員 雨水等に晒されることから必ず腐食していくので、その点において注意は必要だろう。また、教室からの見栄えが良いといった理由で植木鉢を並べる可能性もある。こういった目的でバルコニーがあるのかということを周知徹底し、適切な管理運用が必要になるだろう。加えて、安全性の観点からバルコニーの高さを許容できる範囲内で高くする必要があると考える。

担当課	バルコニーの高さについては、法令上の規定があると認識しているところであり、消防とも協議を行い、安全面を考慮したうえで設計されている。
今中町長	仮にバルコニーをなくしたらどうなるのか。
担当課	避難経路の確保に課題が生じる。
今中町長	外部階段は設置されないのか。またなくても良いのか。
担当課	現時点の設計には外部階段はない。しかし、校舎内に3か所階段があるため、階段数は最低限確保できているという認識である。
暁委員	工事期間中グラウンドを使用する陸上部や体育の授業は代わりに健民グラウンドを使用するのか。
担当課	南グラウンドを使用する。グラウンドの状態があまり良くないので、今年度改修工事を実施する。
渡邊委員	保護者説明会であるが、時期の周知を含め丁寧に進めていただきたい。
松浦教育長	広報に挟み込みの学校適正化だよりはもちろん、上牧中学校、上牧第二中学校それぞれの学校ホームページであったり、校長通信で周知したり、様々な方法でアプローチすることが肝要であると考えている。
土井委員	10月以降に開催予定の説明会は新校舎棟建築に関することになるか。
担当課	新校舎棟に関しての説明はもちろん、今後の統合におけるスケジュール管理についての説明会となる。保護者の皆さまから質問があったときに「検討中です」という回答ばかりにならないタイミングでの開催にしたいと考えている。
土井委員	何回開催する予定か。
担当課	回数は1回の予定である。ただし、保護者向け説明会と主に工事の影響を受けやすい米山台の皆さまに向けた説明会は別のものとして開催する予定である。
土井委員	保護者が懸念していることの1つに通学路があると考えてるが、10月以降の説明会で詳細な説明はあるのか。

担当課	説明する予定である。
暁委員	通学路に関して、地域ボランティア（見守りボランティア）のかたとも密に連携する必要があるだろう。
今中町長	学校がなくなると地域コミュニティがなくなるという考え方が1つあるだろう。また、学校があることによって地域が成り立っているという考え方もあるだろう。様々なご意見を拝聴したが、いただいたご意見についてもしっかりと考えていく。